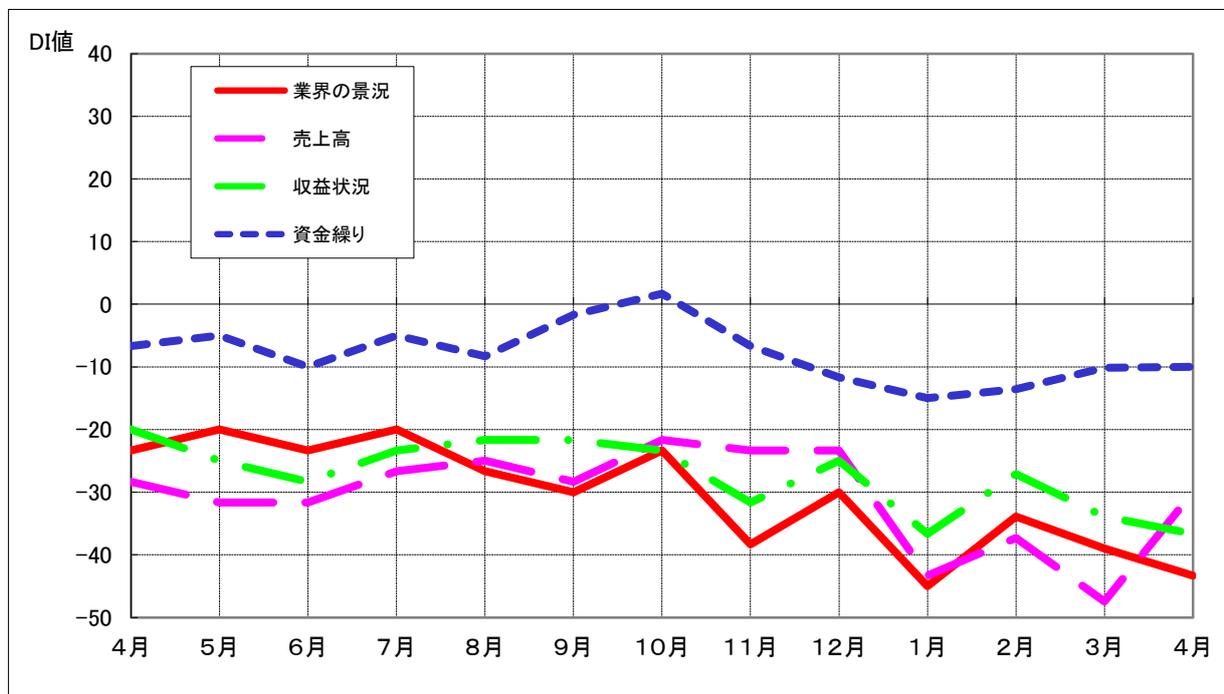


## 業界の景気動向(前年同月比)全業種DI値 平成26年4月～平成27年4月

単位:ポイント



	H26				H27								
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月
業界の景況	-23.3	-20.0	-23.3	-20.0	-26.7	-30.0	-23.3	-38.3	-30.0	-45.0	-33.9	-39.0	-43.3
売上高	-28.3	-31.7	-31.7	-26.7	-25.0	-28.3	-21.7	-23.3	-23.3	-43.3	-37.3	-47.5	-30.0
収益状況	-20.0	-25.0	-28.3	-23.3	-21.7	-21.7	-23.3	-31.7	-25.0	-36.7	-27.1	-33.9	-36.7
資金繰り	-6.7	-5.0	-10.0	-5.0	-8.3	-1.7	1.7	-6.7	-11.7	-15.0	-13.6	-10.2	-10.0

○4月のDI値は前月と比べ、2項目が悪化し、2項目が改善した。「業界の景況」DI値は4.3ポイント、「収益状況」DI値は2.8ポイント悪化し、「売上高」DI値は17.5ポイント、「資金繰り」DI値は0.2ポイント改善した。前年同月と比べると、全項目が悪化した。「業界の景況」DI値は20ポイント、「売上高」DI値は1.7ポイント、「収益状況」DI値は16.7ポイント、「資金繰り」DI値は3.3ポイント悪化した。

4月は前月比で売上高DI値が改善したものの、業界の景況および収益状況DI値は悪化していることから、中小企業を取り巻く経営環境は依然として楽観視出来ない状況となっている。連絡員からは、仕事量は若干増加傾向であるがなかなか単価に反映されず厳しいという報告や材料費の値上げが続き収益は厳しい状況である等の報告が寄せられたため、今後の推移に留意する必要がある。

○組合の特記事項からは、製造業では、織物業から、仕事量は若干増加傾向であるが、なかなか単価に反映されず依然として厳しい状況であるとの報告が、建具製造業からは、年度末工事も終わり、例年4月は工事量が減少する月であるが、今年はその落ち込みが激しいようで、公共工事や民間工事等、どの分野も4月の景況は悪いようであるとの報告が出ている。非製造業では、商店街から、前年同月は消費税増税のため、消費が落ち込み売上を大きく落としたところが多かったが、今年はその数値よりさらに落ちているところが多く、事態は深刻であるとの報告が、広告業からは、依然として材料費の値上げが続いており、収益は厳しい状況であるとの報告が出ている。